

授業改善プラン

地域名	葛南教育事務所	学校名	八千代市立八千代台西中学校
-----	---------	-----	---------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○ある事柄の成り立つ理由を、文字を用いて構想を立てて説明することや、数学的に表現することに課題がある。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○毎時の学習活動の中で、「学習カード」を用いて「わかったこと・大切な考え方」や「まだはっきりしないこと・知りたいこと」などを書かせながら学習活動を振り返る習慣を付けられるように指導を工夫すれば、以後の学習についての見通しをもって主体的に学習に取り組み、自分の学習を調整しながら、数学的に表現する力を高めていくことができるだろう。

3. 具体的な実践

○学習カードを主に以下の3つの場面で活用する
《①授業の導入②例題を解いた後③授業の終末》

- ・②の場面で「学習したこと」の欄に具体的に書くことで、この後の【適用問題を解く】活動の際の参考になることや、次回以降の授業で①の場面で生かされることを実感させることで、生徒が『便利だ』と感じられるようにする。
- ・③の「自分自身を振り返って」の欄に具体的に書くことで、本時の学習課題に対する理解度や、課題解決の方法を、カードを見返したときに振り返り、復習に生かすことができるようにする。

4. 成果

○「学習したこと」の欄は必要に応じて図をかいたり、矢印などを書いたりして関連がわかるようにまとめることで、学習内容の要点をまとめる力や説明する力を高めることができ、数学的表現力の向上につながった。

○「自分を振り返って」の欄は具体的に、自分の取り組み方を振り返ることで、自己の課題に気づき、苦手な単元（学習課題）の復習に力を入れるようになり、自己調整力の向上につながった。

◆担当指導主事から（葛南教育事務所 指導主事 川口 齊之）

○「学習カード」が授業の様々な場面で活用できていた。学習のまとめに、「適用問題を解く」という目的を持たせることで、生徒にまとめを書く意義を実感させることができた。また、適用問題を解きながら、まとめを修正させることで、生徒が学習の自己調整を毎時間行うことができた。